

平成28年度県政モニタリング事業

県政モニターからの主な意見と担当所属の対応方針

テーマ1 国内観光誘客に向けた取組

(担当所属：観光交流局観光戦略課)

1 テーマに対する意見

現状と課題	<ul style="list-style-type: none">・鳥取県の観光に関する情報の整理と発信が十分ではない。・長時間滞在が出来ないため、宿泊につながっていない。・歴史・体験型観光の開発・発信が十分ではない。・観光に関する人材（スポーツインストラクターなど）が不足している。・鳥取県民自身が鳥取の魅力を認知できていない。
-------	--

2 関連事業に対する意見

①「蟹取県へウェルカニ」誘客促進事業

(「鳥取県＝カニ(鳥取県へウェルカニ)」を情報発信の切り口とした誘客キャンペーン、情報発信等)

効果が認められる点	<ul style="list-style-type: none">・誘客に加えて特産品のアピールになるので良い。
課題	<ul style="list-style-type: none">・「蟹取県ウェルカニキャンペーン」のパンフレットの情報量が多すぎて分かりにくい。
改善策	<ul style="list-style-type: none">・ウェルカニキャンペーンのパンフレットが分かりやすくなるように、文字を年配者向けに大きくする、まんが王国なので漫画を使う等の工夫を行う。・県民に事業について関心を持ってもらい、自ら情報発信をしていただくよう、キャンペーンポスターのコンテスト等、県民参加型の取組を行う。

※事業の改善策の中には、事業に対して県民がどう関わられるのかといった県民参画の視点での提案も含まれます。以下同じ。

改善策に対する担当所属の対応方針	<ul style="list-style-type: none">・分かりやすいパンフレットづくりを心がけていきます。・毎年のキャンペーンの趣旨に沿って、漫画の使用も含めて相応しい表現方法を行っていきます。・キャンペーンポスターについては、取組全体の趣旨を踏まえて、デザイナー等と幾度となく協議を重ねながら、内容修正も繰り返し、訴求力の高い素材に練り上げる専門性の高い分野であり、コンテストは馴染みませんが、どなたでも参加できるフォトコンテストやスタンプラリーをはじめ、地元からの魅力発信の担い手として、より多くの県民の皆様に参加及び情報発信いただける取組の検討を行っていきます。
------------------	---

②着地型観光・体験情報発信事業

(日本最大級のレジャー体験予約サイト上に「鳥取県着地型観光案内窓口」を設置して行う情報発信、観光誘客)

効果が認められる点	<ul style="list-style-type: none">・日本最大級の既設サイトを活用することで、体験観光等への関心の高い人に対して効果的に情報発信できている。
課題	<ul style="list-style-type: none">・レジャー体験予約サイトに砂丘のイベントが多く他地域の情報が少ない。・サイトを知らない人にどのように情報発信するのが課題となる。
改善策	<ul style="list-style-type: none">・県内の着地型観光誘客に結び付けるため、ホテルのホームページや県観光連盟等の観光地紹介ホームページに、県内のレジャー体験プランが掲載されているレジャー体験予約サイトのリンクを張る。・レジャー体験予約サイトに掲載されているレジャーについて、県民にモニターとなって体験してもらい、感想をSNSで情報発信してもらう。

改善策に対する担当所属の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・既に県観光連盟のホームページのトップにバナー広告を設けており、継続していきます。 ・旅館などのホームページへのリンクについては、旅館組合と観光連盟に対して、可能かどうかも含め、どのような方法ができるか相談していきます。 ・県から旅行会社やマスコミ等に対して、レジャー体験プラン等も含めた観光情報を情報発信しているところであり、引き続き積極的に情報発信していきます。 ・体験プログラムなど観光素材は、誘客ターゲットの嗜好等を考慮した造成が必要であることから旅行会社（造成担当）等の視察ツアーを行っているほか、多くの皆様へ訴求力のあるメディア（雑誌、フォロワーの多いブロガー等）を招請し効果的な情報発信に取り組んでいます。 ・県民の皆様にも、地域の魅力の発見・再認識とともに、郷土に対する愛着や誇りを育てていただくといった観点からも、掲載されている県内のレジャーをぜひ自発的に体験していただき、facebook など SNS を活用した情報発信など、口コミによる情報拡散の担い手となっていただけるよう PR していきます。
------------------	--

③ニューツーリズム普及促進事業補助金

（ニューツーリズム（エコツーリズム、グリーンツーリズム等）に取り組む団体の活動に対する助成）

効果が認められる点	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光はこれからの主流となるので、取り組んでいる団体の活動への支援は良いこと。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・助成した団体の活動について、県からの情報発信が不足している。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに助成した団体の活動支援のために、当該団体の活動状況を県や県観光連盟のホームページ等で紹介する。 ・ニューツーリズムに関する新たな事業実施や事業の見直しを検討する団体の活動（イベント）について、県民や学生等からアイデアを募り、団体の活動の参考にしよう。
改善策に対する担当所属の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページで助成した団体の活動状況を紹介しよう検討していきます。 ・体験型観光などニューツーリズムの普及推進については、実際の現場において活動に携わる関係者の情熱や強い思いを反映させることが成功への重要なポイントであり、アイデア募集は馴染みませんが、地元の素材、実情をよく知る観光団体（観光協会等）等から意見を聞くなど、効果的な手法を検討していきます。